

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 30 日

宮崎県知事 河野俊嗣 殿

提出者

住 所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋
4750

氏 名 株式会社 増田工務店

代表取締役社長 増田 祐介

電話番号 0983-23-3333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

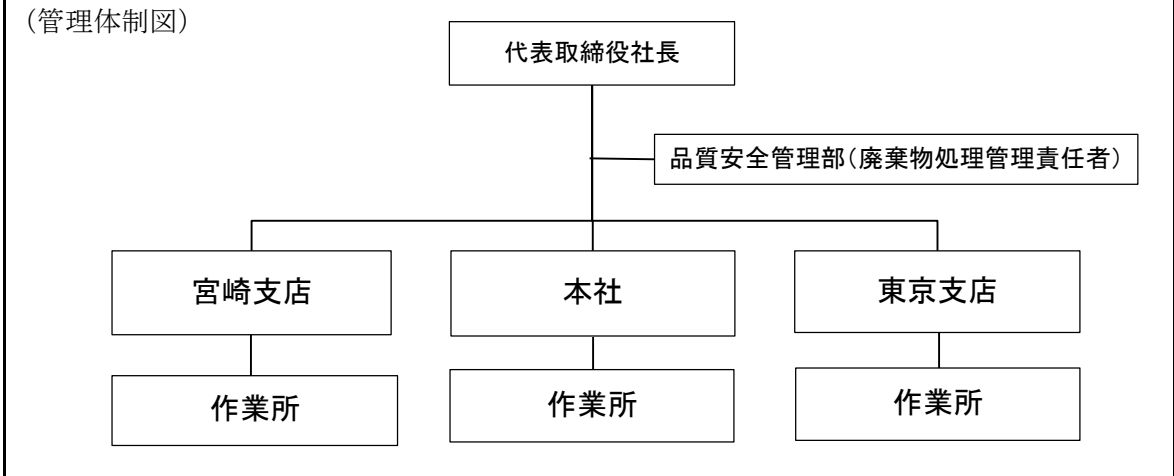
事業場の名称	株式会社 増田工務店
事業場の所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋4750
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	2,958百万円/年
③ 従業員数	102名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	舗装取り壊し ⇒ がれき類（コンクリート、アスファルト） 建物解体 ⇒ がれき類（コンクリート塊） 伐採 ⇒ 木くず 建設工事 ⇒ 廃プラスチック類、金属くず、建設汚泥、木くず、廃石膏ボード

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物収集BOXを廃棄物の種類毎に分別する。 ・ 分別廃棄の啓蒙
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の現状実施事項を実施していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 予定無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位：t

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	混合	建設汚泥	紙くず	木くず	廃石膏ボード	合計	
廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状（令和5年度実績）	排出量	763	652	90	18	146	11	40	2	3	280	54	2,059	
②計画（令和6年度目標）	排出量	687	587	81	16	131	10	36	1	2	252	48	1,851	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
①現状（令和5年度実績）	自ら再生利用を行った量												0	
②計画（令和6年度目標）	自ら再生利用を行う量												0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
①現状（令和5年度実績）	自ら熱回収を行った量												0	
	自ら中間処理により減量した量												0	
②計画（令和6年度目標）	自ら熱回収を行う量												0	
	自ら中間処理により減量する量												0	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項														
①現状（令和5年度実績）	自ら埋立処分を行った量												0	
②計画（令和6年度目標）	自ら埋立処分を行う量												0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
①現状（令和5年度実績）	全処理委託量	763	652	90	18	146	11	40	2	3	280	54	2,059	
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託した量				14	19							33
		再生利用業者へ処理を委託した量	758	652	62	4	127	11	28	2	3	280	31	1,958
		認定熱回収業者へ処理を委託した量	5		28									33
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量							12				23	35
②計画（令和6年度目標）	全処理委託量	687	587	81	16	131	10	36	1	2	252	48	1,851	
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託する量				13	17							30
		再生利用業者へ処理を委託する量	682	587	56	3	114	10	25	1	2	252	27	1,759
		認定熱回収業者へ処理を委託する量	5		25									30
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量							11				21	32